あすてるカンゴ

緊急時の対応

＜生命に危険のある状態の時＞

意識がない、呼吸していない、食べ物で窒息した、痙攣発作等の生命に直結した危険性のある際には下記の対応をお願い致します。生命の危機的状況です。様子をみずにすぐに対応しましょう。

① 救急車又は往診医へ連絡し指示を受ける。

② 往診医からの指示により救急搬送される場合には、その旨を救急隊員へお伝え下さい。往診医がいない場合には、速やかに救急車を要請してかかりつけ病院と主治医の氏名を救急隊員へお伝え下さい。

③ 病院等で治療を受けて下さい。後日、落ちついてからでかまいませんので訪問看護ステーションまでご連絡をお願い致します。

＜生命に直結した危険がない時＞

① 発熱や嘔吐、痛みなどにより病院を受診した方が良いか、又往診医へ連絡した方が良いか迷っている、医療機器のトラブルが発生して困っている、看護師に相談したい事がある等の場合には訪問看護緊急連絡先へご連絡下さい。

② 緊急携帯当番の看護師より指示を致します。看護師の指示に従って対処をお願い致します。状態によっては医師の診察が必要な事があります。看護師から診察をすすめられた場合には、かかりつけ病院や往診医の診察を受けて下さい。

③ 緊急携帯当番の看護師が「訪問して直接状態を確認した方が良い、または処置が必要」と判断した場合には時間調整の上、訪問させていただく事があります。営業時間外となる夜間や土曜・日曜は、自宅又は出先からの移動となるため、１時間～１時間半程時間がかかることがあります。公共の移動手段が利用できない時間帯は、２時間以上時間を要する場合がありますので予めご了承下さい。